東海大学　公募制学校推薦型選抜　小論文対策講座

担当：駿台予備学校　講師　平井 隆洋

【現代文と小論文の違い】

○現代文……筆者の意見を正しく読みとれているか（自分の意見×）

○小論文……課題文を通して自分の意見を論理的に表現できるか（本文のコピー×）

【作文型と課題文型の違い】

○作文型……自分の思いを表現・感性を重視＝〈人間性のアピール〉

○課題文型……自分の考えを論理的に表現・理性を重視＝〈相手を納得させる〉

【小論文（書き方の基本）】

○帰着点（結論）をはっきりさせる

○帰着点に向かって書くことにより、筋の通った論文となる。

【2026 年度の出題について】

課題１（文／体育／観光／建築都市／人文／国際文化学部）

オーバーツーリズムとは、観光地や特定の地域に観光客が過度に集中することで、地域住民の生活や環境に悪影が生じる現象のことです。

オーバーツーリズムによって生じる問題を取り上げて、観光客の観光と地域住民の生活を両立させるための具体的な対策について、あなたの考えを述べてください。

課題２（文化社会／教養／児童教育／法／経営／情報通信／理／医（看護）／文理融合学部）

近年、ChalGPT などの生成（文量や画像などを自動で作り出す人工知能）の普及が急速に進んでいます。ビジネスや医療、教育、創作など、様々な場面で活用が広がる一方、リスクや熱念も出ています。

生成が社会に普及することについて、あなたが考える利点と懸念の両面について、いくつか具体例を挙げてください。そのうえで、生成 A の望ましい使い方について、あなたの考えを述べてください。

課題３（健康／政治経済／国際／工／農／生物学部）

①エネルギー問題、②食料問題、③バンデミック、④気候変動など、現代社会は地球規模の複雑な課題に直面しています。これらの課題解決には、科学技術の発展が不可欠であると同時に、その活用方法には倫理的・社会的な配慮も求められます。

地球規根の複雑な課題解決のために科学技術がどのような役割を果たすことができると期待しますか。また、その技術の導入や普及において、どのような社会的な課題やリスクが生じると考えますか。地球規模の複雑な課題である①から④の中から 1 つを選び、具体的な料学技術の例を挙げながら、あなたの考えを述べてください。